



5月の園だより



2019年5月
吉野幼稚園
園長 野田 弘之

主 題：「共に生きる」

聖書のことば：「あなたの父と母を敬いなさい」

(エフェソの信徒への手紙6：1)



サクラからツツジ、そしてフジの花と、咲く花の種類もうつりゆく5月となりました。吉野幼稚園では、4月に入園した新入園児の子どもたちも、すこしずつ園生活に慣れてきたように思います。毎朝の登園時には、しっかりした挨拶と一人ひとりとのハイタッチがとても楽しみになりました。小さい子どもたちの適応能力は、たいへん高いといわれていますが、まさにその通りだと思います。また、園舎に入ると年長さんが年少さんにいろいろなことを教えています。それは、口だけではなく、実際にやって見せているのです。自分の耳で聞いて、自分の目で見て、そして同じように自分がしてみる、という一連の流れが、いろいろなことができるようになることに繋がっているということです。そして、その後、どうすればもっと上手にできるようになるか、という考えを持つようになると思います。この「考える」ということが、子どもたちのこれからの健全な成長にとって、とても大切な要素になります。

自分で、何かができるようになるためには、ほかの人から単に教えてもらったことを繰り返すだけでなく、「自分で考える」ということも必要になります。そのためには、ほかのお友達がしていることを見ることも大切です。このように考えると、子どもたちの成長にあたって、年齢の違う子どもたちでひとつのクラスを作っている縦割り保育の良さがみられるのではないのでしょうか。

これからも一人ひとりの子どもと接していく中で、子どもたちが潜在的に持っている「成長する力」を育んでいきたいものです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。